



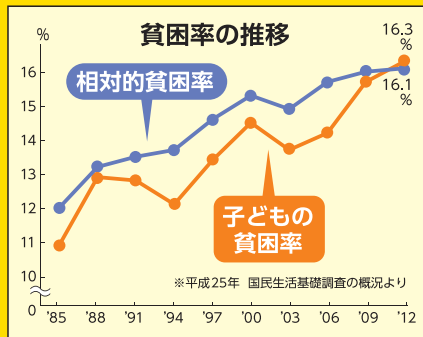
貧困の連鎖を断とう！ 実効的な子どもの貧困対策を！

子どもの6人に1人が貧困

2012年の日本の相対的貧困率は16.1%。子どもの貧困率は16.3%と過去最悪を更新。はじめて子どもの貧困率が全体の貧困率を上回りました。ひとり親世帯の貧困率は54.6%にもなります。このままでは社会の持続性が問われます。

目標値を定め対策の具体化を！

政府が8月に閣議決定した「子どもの貧困対策大綱」は、有識者会議の提言から大幅に後退し、給付型奨学金制度の創設なども見送られました。具体的な数値目標を定め、当事者参加のもとに実効的な施策の立案と実行に着手すべきです。



UP!
2014

生活底上げ・福祉強化

若者にハンディを背負わせない より良い奨学金制度の実現を!

学費の高騰や家計収入の減少により、今や大学生の2人に1人が奨学金を借りており、さらに不安定・低賃金労働の拡大により、卒業しても多額の借金を抱えたまま返済でき

ない人を大量に生み出しています。奨学金で利子をとるのは日本だけで、延滞金徴収や過酷な取り立てなど、教育ローン化、貧困ビジネス化しています。

私たちは求めます。

- ▶ 給付型の奨学金制度の創設を!
- ▶ 貸与型は無利子に。無理のない柔軟な返済制度に!



2014 生活底上げ・福祉強化キャンペーン  中央労福協